

ついこの間まで暑い夏だったような気がしますが、本号が発行される頃は、冬の真ただ中で春が待ち遠しい季節になっていると思います。時間が経つのは意外に早いものです。

今月号の特集は「長寿命化技術」です。長く仕事をしていると、新しい設備を導入しても、気がついたら時が過ぎ、更新を考えなければならないという経験をお持ちかもしれません。それでも、最初に品質の良いものを導入して適切にメンテナンスをすれば、長く使うこともできます。普段の生活でも、少し良いものを買っておくと、長く使うことができ、結果的にトータルの支出を抑えられることもあると思います。

最近では設備の導入時にコスト低減を求められることも多いかと思いますが、ライフサイクルコストを考慮して品質の良いものを導入すれば、数十年スパンで見たときのトータルコストを抑えることができるかもしれません。良いものを長く使うということは、環境負荷の観点からも、本来あるべき姿ではないでしょうか。

さて、来月号の特集は「構造物の耐震技術」です。東日本大震災からもうすぐ三年になろうとしています。地震の多い我が国にとって非常に重要な課題です。最近の取り組みをご紹介します。(Y.M.)